

菅山小学校図書館だより 第1号

発行日:9月25日(月)

37%から74%に!!!!

この数字は、何を表していると思いますか。これは、「進んで読書をしている」というアンケート項目の数値です。昨年度前期に子供たちにアンケートをとったとき、**37%**の児童が進んで読書をしているという回答でした。そのアンケートを踏まえ、今年度菅山小学校では読書に力を入れた活動を行っています。その結果今年度は子供たちの**74%**が肯定的な回答をしました。その数字に繋がった活動を3つ御紹介します。

①朝読書

今年度は月、火、木、金曜日の朝8時から8時10分の10分間読書をしています。朝支度が終わると、どの子も静かに本と向き合っています。朝に読書の時間を位置づけることで、落ち着いて1日をスタートすることができています。

②音読集の活用

音読集を今年度は全学年で購入しています。音読をすることでたくさんのよいことがあります。例えば、勉強の始めに行うことで脳が活性化し、記憶力が向上したり、声に出すことで漢字の読み方、単語の意味、文の切れ目等を考えることで文章構造や論展開を考えるようになったり、黙読につながったり(参照:ベネッセ教育総合研究所ホームページ)とよいことばかりです。宿題の始めに音読からスタートしてみませんか?



1年生もまずは教科書から音読をやっています!

③毎月の親子読書

月末に行われている親子読書。保護者の方の毎月の御協力ありがとうございます。昨年度より回数を増やしました。その意図としては、学校だけではなく放課後も本とふれあう時間をとっていきたい、御家庭とも協力していきたいという思いからです。先日、静岡大学村山教授を招いて教員が研修を行いました。その研修時に、「ページをめくる前に『このあと、どうなるかな?』と一言加えることで子供たちの想像力の育成にもつながる」とおっしゃっていました。子供たちもわくわく聞いてくれるはずですよ。

次号からは、親子読書の記録の中から御紹介したいものを掲載していきたいと思っています。お楽しみに!!!!